

静岡市新清水庁舎建設検討委員会 第2回会議

＜議事要旨＞

開催概要	
■日時	平成29年10月16日（月）午後3時00分～5時00分
■場所	清水庁舎本館 3階 313会議室
■出席者	選定委員 伊東哲生委員、宗田好史委員、加藤孝明委員、黒瀬武史委員、高山茂宏委員、竹内佑騎委員、寺沢弘樹委員、鍋倉紀子委員、日詰一幸委員、森正芳委員
	事務局 静岡市 山本政策官、森下公共資産統括監 企画局 アセットマネジメント推進課 向達課長、田中室長、柴参事、清水主任主事 関係部局 (コンサルタント) ㈱ニュージェック 吉村、上原、島、一戸、柴原
■傍聴者	12人
■議題	1 開会 2 報告事項 (1) 前回のまとめ (2) 清水庁舎再整備の必要性 (3) 清水都心の位置づけ (4) 市民アンケートの結果（速報値） 3 議事 (1) 清水区における庁舎のあり方 4 その他 5 閉会
■資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 「第1回新清水庁舎建設検討委員会 各委員の意見に対する対応」、「第2回目以降の進め方」、「新清水庁舎の構成、規模の考え方」 ・資料2 「2 清水庁舎再整備の必要性」 ・資料3 「3 清水区の現状」、 「3 清水都心のまちづくり～主要な関連計画～」、 「3 清水都心のまちづくりイメージ～関連計画の取り組みなど～」 ・資料4 「市民アンケート集計結果【速報版】」 ・資料5 「清水区における庁舎のあり方」、「基本理念検討ワークシート」、「基本理念・基本方針の他市事例」

議事要旨	
1 開会	
2 報告事項 (1) 前回のまとめ (2) 清水庁舎再整備の必要性	
日詰委員長	それでは、「報告事項（1）前回のまとめ」、「報告事（2）清水庁舎再整備の必要性」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料1および資料2について説明）
日詰委員長	事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。

議事要旨	
	《質問・意見等なし》
2 報告事項 (3) 清水都心の位置づけ (4) 市民アンケートの結果 (速報値)	
日詰委員長	それでは次の報告事項に移ります。「報告事項 (3) 清水都心の位置づけ」、「報告事項 (4) 市民アンケートの結果 (速報値)」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料3および資料4について説明)
日詰委員長	事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。
黒瀬委員	資料3の p.9 は、清水のまちづくりを考える上で重要な資料だと思います。このまちづくりイメージからは、都心エリアの中でも江尻地区および日の出地区においてまちづくりに注力したいとの意図が読み取れ、理解することができたと思っておりますが、市の考え方を教えていただきたいです。また、この図からは現清水庁舎位置が、力を入れる地区からずれているという認識で良いのでしょうか。
事務局	挙げられた2つの地区にのみ、注力したいということではないです。都心エリアの真ん中部分 (現清水庁舎周辺) は、主に暮らしのための市街地エリア、挙げられた2つの地区については、主に清水の業務・商業の中心を担うエリアとしたいと考えております。
宗田委員	資料3の p.8 に示される関連計画は、どの程度実現性のあるものなのでしょうか。さまざまな計画を進めようとしていると思いますが、すべての計画に同じように注力し、実現させるのは難しいように思います。人口や観光客が減少していく想定の中で、活気をつくることを目指すのであれば、投資するエリアを絞る必要があると思います。
事務局	実現性については、回答が難しい質問ではあります。都市計画マスタープランの実現性を測るために立地適正化計画を昨年度策定しましたが、その中で目標や評価指標を定め、その目標を達成できているのかを定期的に見極めながら進めていく方向で考えています。また、現段階では都市計画マスタープランに則って、全ての計画において共通する目標を掲げて進めていきたいと考えています。 また、まちづくりに関しては全エリアで同じ濃度 (力の入れ具合) で進めることは難しいと考えており、投資についても集中的に行われると考えられます。
宗田委員	合併により静岡市の中の清水区になった経緯があるため、清水に過剰な商業価値を見出すのは難しいのではないかと思います。
加藤委員	今回の清水区における新庁舎建設では、防災が論理の主軸になると考

議事要旨	
事務局	<p>えています。そのため、耐震性や防災性を高める必要があるという考え方の軸はぶれないように進めていくべきだと思います。</p> <p>資料3の p.9 に描かれるように津波ハザードのある地域に今後、投資を行うとされています。津波災害が想定される地域であっても安全に生活できるようなまちづくりをしていくという確固たる市の決意を行政計画の中に示されるべきだと思います。しかし、p.8 に示されているような関連計画からはその決意が読み取りづらいため、明確に示す必要があると思います。新庁舎の整備場所を考える上で重要な点であるため、市の中でどのような議論がされているのか、どのように進めていこうとしているのか、現時点での考えをお聞かせください。</p> <p>清水都心のエリアの中で防災性を高めていきたいと考え、様々な計画において安全な暮らし・防災の発展を掲げていますが、各計画における防災への言及は確かに弱いと思います。策定中の防災都市づくり計画や、その他の計画の改訂時などにおいて、津波災害の危険性がある地域で、安全な生活を確保するためにはどのようにしていくべきかといった観点についても他の課と連携しながら書き込んでいきたいと思っています。</p>
加藤委員	<p>災害の危険性のあるところに安全に暮らすためには、市街地を更新させながら安全な空間を創っていくことが不可欠です。しかし、短期間ですべてをガラッと変えることは難しいため、宗田委員がおっしゃられたように、限られた投資の中でどのように安全性を確保していくのかを考え、限られた投資の中でも、確実に安全になっていくメカニズムをまちづくりに上手く埋め込むことが重要だと思います。</p>
竹内委員	<p>先程、観光サービス産業への転換を図るとの説明がありましたが、そのことに関連して、定住人口だけでなく、交流人口についても目標値が見えたほうが良いのではないかと思います。清水区外から訪れる人が、清水区のどこに多く訪れるのかを資料3の p.9 にプロットすることで、高い安全性を確保すべき場所や、観光のハブを配置する場所が見えてくるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>当課だけで進めていくことは難しい内容かと思いますが、今後他課と連携を取り合いながら進めていきたいと思っています。</p>
日詰委員長	<p>これまでの報告事項について、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>《質問・意見等なし》</p>
3 議事(1) 清水区における庁舎のあり方	
日詰委員長	<p>それでは議事に移ります。「(1) 清水区における庁舎のあり方」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料5について説明)</p>
日詰委員長	<p>事務局からの説明にあったように、ワークシート形式のツールを使っ</p>

議事要旨

	<p>て意見交換を行うということですが、何かご意見等ありましたらお願いいたします。</p>
宗田委員	<p>今の事務局の説明では、色々な機能をたくさん盛り込もうとしているような印象を受けます。あくまで新清水駅と JR 清水駅とを結ぶエリアを誘導していくということを念頭に置きながら、何が本当に必要な機能なのか、将来について戦略的に考えて意見・議論ができればと思います。</p>
日詰委員長	<p>資料 3 の p.9 に示されていた 2 つの拠点をどのように考えるのかという観点からのご意見だと思いますが、他に何かご意見等ありますでしょうか。</p>
寺沢委員	<p>資料 5 の事例を見ると、フルスペックの大きな庁舎が想起されますが、清水区に整備する庁舎として導入されるべき機能は、防災機能、身近な市民サービス機能、清水のまちづくり戦略本部の 3 つくらいかだと思います。また、リノベーション計画が位置づけられているのであれば、ひとまとまりの大きな庁舎を建てるという考え方ではなく、まちの中（商店街など）に点在している空き店舗などの未利用ストックを上手く活用しリンクさせながら運用することを前提として機能を考えていくことも必要なのではないかと思います。</p>
日詰委員長	<p>フルスペックの機能を導入することは難しいため、新庁舎に導入する機能についても、絞る必要があるのではないかと思います。清水のまちづくりについて今後どういったものが考えられるのか、2 つの拠点をどのように扱っていくのが良いのかという視点から、何かご意見等ありますでしょうか。</p>
鍋倉委員	<p>資料 5 のワークシートを見て、求められる機能はいろいろ思い浮かびましたが、果たしてそれらを全て要望として出してもいいのか、実現するだけのお金があるのだろうかと思いました。津波被害の危険性のある場所に整備をして、万が一被害にあった際には、整備費用のほかに改修費用がさらにかかり、財政負担が大きくなってしまうため、その点が不安に思います。</p> <p>また、資料 1 の市庁舎の構成、規模の考え方で清水庁舎の一部を静岡庁舎に集約とありますが、具体的にどの部署が集約されるのか、現段階でわかる範囲で教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>現清水庁舎内で、経済局、子ども未来局、教育局は本庁組織であるため、それらは静岡庁舎への集約が現段階で考えられます。また、駿河区役所同様に、市税事務所などの清水区を業務の対象としている組織や、更に国際海洋文化都市を実現するための新たな部署の新清水庁舎への配置を検討するとしています。ただし、組織が何人規模になるかといった詳細は決まっていない状況です。</p>
鍋倉委員	<p>では、今後新たな部門が設置されるとしても、庁舎自体は縮小化されるという認識で良いでしょうか。</p>

議事要旨

事務局	<p>現状と同規模を建設することは考えにくく、現状よりも小さくなると考えています。</p>
日詰委員長	<p>まちづくりの視点から見た庁舎の役割について、何かご意見等ありませんでしょうか。</p>
森委員	<p>一清水区民としての意見ですが、法務局や税務署、社会保険事務所なども清水庁舎内に一緒に設けてほしいです。ワンストップになると、手続きの効率性から考えて便利だと思います。</p> <p>また、組織について、国際海洋文化都市としてのまちづくりを推進する部署を新清水庁舎に設けるとの説明がありましたが、日の出地区以外にもまちづくりを進める必要があると思います。港のみの振興課だけではなく、清水区のまちづくりを総合的に担う部署を設置するのが良いのではないかと思います。新清水庁舎に清水区のまちづくりに関してワンストップで行える機能があれば、それで十分ではないのかと思います。</p>
伊東委員	<p>商業についてですが、資料では2006年までを取り上げていることから空き店舗が増えてきているとなっておりますが、この10年間でその空き店舗はほとんど埋まってきています。エリアは絞ることになりますが、ピンポイントで再開発・投資し、そのランドマークが防災をテーマとした庁舎となるのが良いのではないかと思います。防災を重視することで、災害時にそこへ避難する、または1週間程度滞在できる場所として使える機能があれば良いのではないかと思いますし、そこを中心に、周辺が医療・介護等で発展していけば良いのではないかと思います。</p>
寺沢委員	<p>大きい複合施設を作って人を上手く集めることに成功している事例を見たことがありません。清水区には多くの魅力的なコンテンツがあるにもかかわらず、区役所として、区のポテンシャルを生かしきれていないように感じます。ただハコをつくるのではなく、清水区のまちづくり資源であるコト（エスパルス、ちびまる子ちゃん、マグロ、富士山ビューなど）を整理する必要があると思います。そのためにもまちづくりの戦略本部を作り、まちをよく理解するためにも庁舎機能の一部をまちなかに点在させ、職員がまちの中で働いてみるのが良いのではないかと思います。大きなランドマークは不要だと思います。</p>
伊東委員	<p>ランドマークと申しましたが、私も大きなものはイメージしておりません。</p>
宗田委員	<p>庁舎がまちのシンボルとなるというのは、従来の考え方に縛られているのではないかと思います。今後はネット等で申請書が手に入るなど、自宅で何でもできる時代になっていくと思います。東京の東急で改札の20m先に病院があるような事例がありますが、例えば区役所と病院を一緒にすることで手続きの簡素化を図ることが出来るなど、今後必要とされること、変化が見られることを予測しながら、導入する機能を検討すべきだと思います。</p>

議事要旨

日詰委員長

今までは高度成長の中でのまちづくりが進んできましたが、今後は超高齢社会を見据えることが、現実的な未来のまちづくりに繋がってくるのではないかと思います。

高山委員

今日は意見を出さないでおこうと思っていましたが、宗田委員が言われたポイントに関して、静岡市が色々な政策を実施すると掲げていても、それらが実現できなくなってしまうら困ります。

現在の清水庁舎は、旧清水市時代の市役所としての規模を有しているため、もし区役所として建てるのであれば大きな規模のものは必要ないと思います。

少し矛盾しているのではないかとと思うのですが、国際海洋文化都市としたいと説明がありましたが、国際海洋文化都市が何なのかについて区民には理解されていないのではないかと思います。2つのポイントとして江尻と日の出を分けて考えたときに、区民としてはどこか一部が栄えることではなく、全体的にレベルアップすることを願っていると思います。各エリア（江尻、日の出）において何がシンボルとして必要なのかを検討し、そのシンボルが人を集めるものになれば一番良いのではないかと思います。清水港の人口減少は、清水港で働く人がいなくなったことが一番の原因だと考えているため、国際海洋文化都市とした時に、流入人口は増えますが、果たして区の人口自体が増えるのかという懸念事項があります。

区民の代表として発言させていただいておりますが、区民にとって有益なものは一体何なのかということについて、検討委員会等で適切に議論するため、そして、それを区民に理解してもらうためにも、市には具体的にいつまでに何をするのか明確な計画を示してほしいと思います。

また、活気をつくるために、清水区において投資は絶対に必要だと思いますし、海洋文化都市とするのであれば、清水区に経済局等の部署を置くべきだと思います。

黒瀬委員

資料4の市民アンケートを見ると、想像以上に車ででの来庁者が多いため、どの場所に新庁舎を建設するとしても、十分な台数の駐車場は必要になると思います。そこで、庁舎のためだけの駐車場を単に用意するのではなく、ほかの場所に行くときや土日に商店街に行くときなどにも使える駐車場となれば良いのではないかと思います。庁舎のために作ったものが、どれだけ周辺の地区とシェアできるのかといった観点で、導入する機能を検討していくことも必要だと思います。

鍋倉委員

市民アンケートに、区民が望む庁舎の役割、あり方が明確に示されていると思います。災害に強い庁舎と災害時に拠点になる庁舎の2つは意味が違うと考えます。

後者の役割はテルサやマリナートが担えるものかもしれませんが、本当に新庁舎に必要なのかと疑問に思う機能でもあります。区民にとって新庁舎に望むことは、災害に強く、目的の手続き等がさっと行える機能であり、それがあれば十分なのではないかというのがアンケート結果からも伺えます。

議事要旨

加藤委員

先ほどの発言は、津波ハザードがある地域でも安全なまちにしていけるという意味合いで意見を述べたものでした。

2点コメントします。先程伊東委員がおっしゃられたように、この地域は、ちょうど今建物の更新時期に入ったのかもしれませんが。まちとしての変わり時にいい刺激を与えると、街を良い方向に変えられる可能性がでてきます。庁舎をその起爆剤として位置づけるのが良いのではないかと思います。

庁舎自体の耐震性を確保するだけでなく、周辺地域の防災性を向上させることができる施設とすることが考えられます。非常に分かりやすいモデルとして理解してもらえるとと思いますし、周辺のまちにおいても庁舎をモデルとして同じような発想で民間開発が進めば、地域全体としてより速く防災性の高いまちづくりが進んでいくのではないかと思います。

また、2点目は庁舎の在り方についてです。一般に市民アンケートでは、どうしても従来の発想に留まる傾向があり、先進的な考え方を拾い上げるのは難しいと考えています。未来志向の区役所の在り方があるかと思しますので、この委員会の中で意見を出し合い、ブレインストーミングしながら検討していくと良いと思います。

宗田委員

都心に観光要素とその地域を盛り上げるための人口という2つの要素が必要だと考えているのだろうと思います。

富士山は大きな観光資源であるため、クルーズ船やマンションから富士山がきれいに見えるなど、清水が富士山を一番きれいに見えるところとしてまちのイメージを誘導する必要があると思います。大きな庁舎は要らないと思いますし、まずマスタープラン等まちのあり方を見直してから庁舎建設を検討すべきだと思います。

日詰委員長

まちのあり方を見直すというのは、少し難しいのではないかと思います。加藤委員がおっしゃられるような、少し未来志向な新しい庁舎に導入すべき機能についての意見を頂きたいと思います。

竹内委員

まちは人が変えるものだと思っています。今後のまちづくりを担う人という観点から、清水区における若者がどのように考えているのか、お話を伺ってきたのですが、想像以上に若者は清水区のことを誇りに思っており、特に学生はまちづくりに対して強い関心があるように見受けられました。既にまちと連携を図り、まちづくりに関与している学生も居り、そういった人材は大切にしていきたいと思います。大学・学校との連携を図り、今後のまちづくりを担う若者の活動支援や育成が出来るような場所を設けるべきではないかと思います。

寺沢委員

竹内委員がおっしゃられるような、まちづくりに携わる若者がいるのであれば、今と同じような庁舎では気軽にいくことが難しいと思います。従来の庁舎とは違う新しい庁舎の形として、まちの中のストックを生かしながら部署を点在させることが考えられ、その方が若者との関わりを増やせるのではないのでしょうか。庁舎建設のときに職員としては部署間

議事要旨	
日詰委員長	<p>の連携のしやすさを重視しますが、可能なものはネットなどデジタルでつなぎ、必要などときには職員が書類をもって商店街を駆け回ったり、まちに出向き他部署やまちづくりの担い手と関わり、つながるというスタイルが確立できるのではないかと思います。ハコモノに投資するよりは、デジタルとアナログを併用していくのが良いと思います。</p> <p>おっしゃっていただいたような、ある程度ドラスティックなものでも構いませんので、ご意見等ありますでしょうか。</p>
伊東委員	<p>清水は風光明媚な場所であるにもかかわらず、それを生かしきれていない現状があり、観光で訪れたとしても、半日で帰ってしまうことがほとんどかと思えます。まちにおける観光客の滞留時間を増やせるような機能があれば活性化にもつながるため良いのではないかと思います。</p>
宗田委員	<p>まちの中でルールを決めないと、上手くまちづくりが進まないと思います。</p>
日詰委員長	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>《質問・意見等なし》</p> <p>何か他に良いアイデアがあれば、事務局へお伝えいただければと思います。たくさんのご意見を頂きましたが、特にまちづくりの視点からのご意見が多かったかと思えます。本日頂いたご意見を事務局でまとめていただき、次回の委員会でお伝えいただきたいと思えます。</p>
4 その他	
事務局	<p>本日の委員会の中で、訂正事項がありましたのでお伝えいたします。</p> <p>まず、庁舎機能の集約化について、駿河区役所の中に市税事務所があるといった表現をしましたが、正しくは、事務所ではなく窓口機能があるということですので、そのようにご理解いただければと思います。また、資料2の耐震性能を示した概念図について、説明では国が求める耐震性能を満たしていないとお伝えしましたが、正しくは資料にある通り、県が求める耐震性能を満たしていないという内容となっております。</p> <p>次に、今後の予定についてお知らせいたします。</p> <p>新庁舎のあり方・役割について市民のご意見を伺うために、市民ワークショップを開催いたします。10月29日の開催を予定しておりますので、委員でご興味のある方がいらっしゃいましたら、当日来ていただければと思います。</p> <p>次回、第3回目の検討委員会は11月6日15時～を予定しております。委員会に先立ちまして、清水都心の現地視察を実施いたしますので、ご希望される委員におかれましては、10月31日までに事務局へご連絡ください。よろしく願いいたします。</p>
5 閉会	